

くにみ 議会だより

No.159
12月議会号



新年最初のお宝で心も体もポッカポカ

1月19日、厳しい寒さのなか、少年柔道東北ブロック新春宝物争奪戦大会が柏葉体育館で行われ、国見町柔道スポーツ少年団の小・中学生が出場しました。

12月定例会

復旧復興対応で時間外手当を増額

平成25年度補正予算 ————— P2

消防団員の定年引き上げなどの条例改正 ————— P4

一般質問（仮置き場の確保など6人が登壇） ————— P7

議会基本条例策定へ

2月14日に町民説明会を開催します — P14

産業と人の交流へ常任委員会調査報告 ————— P16

職員の時間外手当などの増額を決定

復旧復興業務の増加に対応

12月議会定例会は12月10日から13日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、「歳計剰余金を処分するための町債(借金)の期限前返済をする補正予算」や「消防団員の定年延長」の条例改正など12議案が提出され、すべて原案どおり可決、決定されました。

一般質問では6人の議員が登壇し、10項目にわたって町政をたどりました。



笑顔がはじけるクリスマス会(ももたん広場)

平成25年度一般会計
補正予算(第4号)の主な内容

【歳出の主な事業】

- ・歳計剰余金処分のための町債(借金)の期限前返済 1億1154万円
- ・小坂消防屯所の建設費用 1200万円
- ・観月台公園の遊具入れ替え費用 1019万円
- ・子ども・子育て支援法に係るシステム導入、計画策定調査費 870万円
- ・藤田保育所の屋内遊具などの整備費用 220万円
- ・ふくしま林業再生事業 (貝田地区の間伐、森林再生計画策定) 527万円
- ・松くい虫防除事業 260万円
- ・職員の時間外勤務手当 666万円
- ・県北中学校の部活動補助 284万円

【主な財源】

- ・国・県からの補助金 3310万円
- ・前年度からの繰越金 3722万円
- ・災害廃棄物処理事業過年度精算金 7126万円

町債(借金)の残高

会計名	25年3月31日現在	26年3月31日見込
一般会計	51億875万円	54億9137万円

平成25年度補正予算

平成25年度補正予算は、一般会計(第4号)が提出

され、1億9645万円を増額し、予算総額を104億4239万円とすることになった。

観月台公園の遊具入れ替えに1019万円

主な増額は、復旧復興業務の増加による職員時間外手当に666万円、歳計剰余金を処分するための町債(借金)の期限前返済に1億1154万円、小坂消防屯所建設に1200万円など合計1億9645万円です。

※歳計剰余金とは
前年度の収入額から支出額を差し引いた残額。その半分以上を基金(貯金)に積みか繰上償還(借金の期限前返済)に使わなければならない。



質疑

業務負担の片寄りは

問

(浅野富男議員)

時間外勤務が特定の部署や職員に集中していないか。

総務課長

復旧復興のため、仮置き場や除染事業、町づくりや交流の場の推進対策事業、風評被害対策や義経まつり、イルミネーションの元気活力事業

人員不足への対応は

問

(浅野富男議員)

復興に向け職員を増やしたと聞かすが、時間外勤務や人員不足の中で今後の町政をどう進めるのか。

町長

正職員、臨時職員など20人程度を増員し、全職員一体で取り組んでいるが、足りていない。職員は大変な状況で業務を行っているため、県や国に

の担当部署でかなりの業務量が増えている。

業務過多で健康

管理は

問

(村上晴夫議員)

業務過多による健康面が心配される。職員の健康管理が必要ではないか。

町長

常に体調管理に気をつけるよう話をしている。精神的な部分が重要で、毎日必ず全職員に声をかけ、コミュニケーションを図るよう心掛けていく。

26年度予算では

改善を

問

(村上晴夫議員)

25年度の超過勤務手当の補正増額を反省し、26年度当初予算で適正な予算に改善すべき。

町長

職員の確保や事業成果の検証を進め、各課の業務量や職員の適正

配置、超過勤務手当などを当初予算に反映したい。

車両借受の経緯と

配置は

問

(渡辺勝弘議員)

小型ポンプ車の無償借り受けの経緯とその配置場所は。

住民生活課長

消防団から要望を受け、消防庁が決定したもの。維持管理の諸経費は町負担となる。

小型ポンプ車は第1分団(小坂)に、それ以外の救命ボートやテント、投光器などは第3分団(森江野)に設置予定。



12月12日、3.11大震災復興対策特別委員会で、除去土壌の搬入が進む大枝方部仮置き場を現地調査(西大枝字元寺地内)

条例その他

消防団員の定年を 65歳に引き上げ

町消防団設置等に関する条例の改正

(要旨) 部長以下の一般消防団員の定年を60歳から65歳に引き上げるもの。

(全員賛成で可決)

少子化で若い 団員が不足か

問

(阿部泰藏議員)

定年延長は、少子化の影響で若い団員が不足したためか。

課長

団員確保と組織体制維持のため、幹部会議で議論し決定したものです。ここ3年は、毎年10人以上の新人団員が加入している。

町消防団設置等に関する条例の改正

問

(佐藤定男議員)

何歳か。

近隣市町の定年は

課長

左表のとおりである。

各市町の消防団の定年

	団長・副団長	一般団員など
国見町	65歳	
桑折町	定年なし	
川俣町	定年なし	65歳
福島市	70歳	65歳
伊達市	※70歳	65歳

※伊達市は副分団長以上

駅前デイサービスの 管理者を社会福祉協議会に決定

(要旨) 駅前デイサービス

ンターの指定管理者の期間が満了となるため、新たに公募した結果、引き続き国見町社会福祉協議会に決定したものです。期間は4月1日から平成31年3月31日までの5年間。

(全員賛成で可決)

町営住宅の入居 資格を追加

町営住宅管理 条例の改正

(要旨) 法律の改正により、入居者の資格要件を、これまでの配偶者からの暴力の被害者に加え、交際相手からの暴力による被害者を追加するもの。

(全員賛成で可決)

※指定管理者制度とは

町施設の管理を法人(公社など)や公共的団体(社会福祉法人など)、民間企業に期間を定めて行わせること。

契約関係

藤田方部仮置き場工事費を増額

(要旨) 藤田方部1号仮置き場(山崎字前柳地内)の契約金額に994万円を増額し、総額9702万円地下

水対策を強化し工事するもの。

(全員賛成で可決)

対策は無駄では。

原発災害 対策課長

10月上旬に判明し、当初の対策工事前に変更した。これまで当初契約金額の中で変更を進め、途中で工事費が不足する分を増額するもの。

事前調査で 予測可能では

問

(阿部泰藏議員)

地下水が多いのは事前調査で予測できなかったのか。

原発災害 対策課長

工事により土を移動したこと

工事の変更時期は

問

(阿部泰藏議員)

工事の変更はどの時点か。当初設計した排水

当初からの 設計ミスでは

問

(村上正勝議員)

地盤が軟弱なのは最初からわかっていたはず。1000万円近くの増額は設計ミスでは。

原発災害 対策課長

設計は適正だが、工事を進める途中で問題が発生した。これまでも最善の方法で進めており、今後も現場の状況により適切に対応する。

12月定例会 町長の行政報告(抜粋)

■ 東日本大震災の早急な復旧・復興

仮置き場は各地区で除去土壌の搬入や造成工事を進めており、住宅・宅地除染の作業着手戸数は495戸。(1月20日現在)

県北浄化センターの汚泥は、飯舘村の減容化施設に搬入可能となり、11月28日に県と覚書を締結。なお、悪臭などの損害賠償は、引き続き県と東京電力に周辺対策を含め求めていく。

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、21歳以上の全町民対象で1月中旬までに終了予定。これまでの検査結果で、健康に影響を与えるような数値は検出されていない。

平成25年産米の検査は、6万3679袋を実施。基準値を超える米は検出されていない。

地域間交流及びトップセールスは、10月から岐阜県池田町と東京都羽村市でモモ、リンゴ生産の青年農業者、コメ農家と町特産農産物のPRを実施。

あんぼ柿は、「加工再開モデル地区」で3年ぶりに加工を再開。国見共撰場で12月から安全検査を開始。

■ 安全安心なまちづくり

国見町総合防災訓練は、10月27日に実施し、町内会の避難訓練には2086世帯、2704人が参加。上野台運動公園などの各種訓練には自主防災会役員など257人が参加した。

災害時における相互応援協定をヤマト運輸株式会社、福島県LPガス協会、北海道ニセコ町と締結。

■ 活力あるまちづくり

まちづくり懇談会は、11月16日から5地区で開催し、「交流の場」に多数の意見をいただいた。

活力あるまちづくり検討委員会から、11月27日に「これからのまちづくり基本計画」の意見を受けた。今後は事業の具体化を進めていく。

「明日へ、復興・きずなイルミネーション事業」は、11月23日にキャンドルパーティーとイルミネーション点灯式、12月23日に阿津賀志山ビッグツリー点灯式と2回目のキャンドルパーティーを実施。

■ 思いやりのあるまちづくり

屋内遊び場「くにみもたん広場」は11月12日に入場者1万人を達成。今後も、親子で安心して楽しめる遊び場を提供していく。

■ 町の維持発展と町民との連携

町内各分野の関係者との合同町政懇談会を11月8日に開催し、その意見を平成26年度当初予算に反映するよう検討していく。

ミニバイクなど町のご当地ナンバーを作成し、1月6日から交付。

出初式で防災へ決意(上野台運動公園)



小坂方部仮置き場工事を決定

(要旨)小坂方部1号仮置き場工事契約(泉田字大松山地内)を株式会社渡辺建設(国見町徳江)と8575万円で締結します。工事は26年3月31日までの予定。
(全員賛成で可決)

地盤改良は必要か

問 (村上正勝議員)
山崎の仮置き場と同じく地盤改良や地下水対策は必要になるのか。

原発災害対策課長 調査の結果、対策は必要ないとの判断。

古い街路灯をLED照明に交換

(要旨)板橋南ニュータウン

内街路LED照明工事を有限会社佐久間工業(国見町森山)と5617万円で契約します。工事は26年3月20日までの予定です。

(全員賛成で可決)

交換で経費節減は可能か

問 (村上晴夫議員)
補助金の割合は、LEDに交換すると電気料金は節減されるのか。

課長 国の補助割合は4割。交換で料金は安

くなるが、どのくらいになるかは調査中。

古い街路灯の残数は

問 (松浦常雄議員)
古い街路灯はまだ残っているのか。

課長 今回の工事はニュータウン内の道路沿い31基のみで、公園内の古いものは残る。

意見書・要求書

12月定例会では意見書3件、要求書1件を可決・決定し、国など関係機関と東京電力に提出しました。

2014年度の教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書

震災及び原発事故後の様々な教育諸課題に対し、よりきめ細かい教育を実現するため、地方交付税を含む国の教育予算の充実と、教職員定数の拡充のための人的措置・財政措置を求める。

可決

東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書

増え続ける汚染水に対し、問題解決に向けた具体的な見通しが示されないため、早期解決におむけ、国が前面に立ってこの問題に取り組むよう求める。

可決

放射能汚染による下水汚泥の堆積に伴う損害賠償を求める意見書

下水汚泥の留め置きによる風評被害や長期にわたる精神的苦痛は甚大であり、国県関係機関に対し、原発事故以降の全ての損害について賠償を求める。

可決

放射能汚染による下水汚泥の堆積に伴う損害賠償等を求める要求書

下水汚泥の留め置きによる悪臭など健康への影響や風評被害、長期にわたる精神的苦痛は甚大であり、東京電力に対し、地域住民への誠意ある賠償、事故以前の状態に戻るまでの賠償、風評被害の払拭や復興対策の積極的支援を求める。

決定

みなさんからの 請願・陳情

12月定例会では陳情1件を委員会で審査し、採択となりました。

陳 情	提 出 者	審査委員会	結果
「2014年度の教育予算の充実と教職員定数の改善を求める意見書提出」方の陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 五十嵐 史郎	総務文教	採択

一部事務組合報告

※一部事務組合とは、複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

24年度決算認定などを可決

伊達地方衛生処理組合議会

10月31日、第2回議会定例会が開催され、24年度決算認定や25年度補正予算など9件が審議され、いずれも可決されました。

また、11月26日に第3回議会臨時会が開催され、焼却炉建設用地購入と搬入道路工事の契約1件が可決されました。

平成24年度決算

歳入 14億3645万円

歳出 14億2799万円

(決算額は、一般会計、し尿処理特別会計、ごみ処理特別会計の合計)

(報告者 村上正勝)

震災関連職員手当を改正

伊達地方消防組合議会

10月31日、第2回議会定例会が開催され、24年度決算認定や大震災関連業務職員手当の改正、25年度補正予算の3件を審議し、いずれも可決されました。

平成24年度一般会計決算

歳入 15億7910万円

歳出 15億5939万円

(報告者 渡辺勝弘)

～6人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

12月定例会

議員	質問事項	ページ
井砂 善榮	米の放射能対策の継続を	8
	国の減反政策変更への対応は	
	町の再生可能エネルギー開発は	
佐藤 定男	新たな仮置き場確保に向けた町長の決意表明を	9
渡辺 勝弘	農家と商店の連携による農業振興を	10
阿部 泰藏	阿津賀志山整備構想は	11
	森林除染をどう進めるのか	
浅野 富男	消費税増税で町民生活はどうなるのか	12
村上 正勝	汚泥搬出の覚書を県に確実に実行させよ	13
	早期に防火水槽の除染を	
	駅前公園を駐車場に	
	ゴミのポイ捨て防止に有効な対策は	

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

Q 米の放射能対策の継続を

A 国に事業継続を求めていく



井砂善榮議員

などと連携を図りながら、全量全袋検査に対応していく。

国の減反政策 変更への対応は

問 町の二戸当たり水田経営面積は約40[㌦]と小規模である。減反政策の見直しで4[㌦]以下の小規模農家にとって厳しい水田経営が迫られている。町は、どのような対策を考えているのか。

町内産農産物は他産地に負けない品質がある。しかし、農業経営が継続できる価格を確保するために、創意工夫を凝らした直接販売や加工、販売にも取り組む必要がある。町としても交流の場が米を含めた「くのみブランド」創設のきっかけとし、農産物の販売や加工品の開発・製造・販売の方策について関係者と早急に協議をしていく。

問 町内産のコシヒカリは新潟魚沼産にひけをとらない米である。さらに安心安全な国見ブランドの確立と推進を。

産業振興課長 すべての町内産農産物は他産地に負けない品質がある。しかし、農業経営が継続できる価格を確保するために、創意工夫を凝らした直接販売や加工、販売にも取り組む必要がある。町としても交流の場が米を含めた「くのみブランド」創設のきっかけとし、農産物の販売や加工品の開発・製造・販売の方策について関係者と早急に協議をしていく。

町の再生可能 エネルギー開発は

問 町長は原子力を依存しない社会を表明している。脱原発には再生可能エネルギーの開発が課題となる。国見町で考えた場合、バイオマス(木材や家畜糞尿等)の活用ではないか。バイオマス発電などの開発に対する町の考えは。

企画情報課長 バイオマス発電では燃料の安定的、継続的な確保が課題となることから誘致や整備については、県や近隣市町との広域的な取り組みが必要である。また、バイオマスに放射性物質が付着している状況から、焼却灰に含まれる放射性物質の問題があり、住民の理解を得ることは、現状では困難であると判断している。

問

福島産の米の安全性を消費者に再確認してもらうためには、26年度作付け前に放射性物質吸収抑制剤の散布継続が必要では。

町長

今年度の米づくりは全く問題なく推移したことから、なるべく現在の手法を変えないよう要望

していく。

問

米の全量全袋検査の継続も必要では。

町長

今年産米に対する全県での検査結果が明らかになった時点で26年度の対応方針が決定される。町としては、今後、県や町地域農業再生協議会

産業振興課長

国からまだ説明を受けていないが、農業の根幹に関わる政策変更については、今後、県や農協五連などと連携し



国見自慢の農産物を全国に発信
(町イチ!村イチ! 2014、東京国際フォーラム)

Q 新たな仮置き場確保に向けた 町長の決意表明を

A 除染推進のため町民皆様のより一層の協力を

町長

今後とも、除染計画にある年間の追加被ばく線量が1ミリベクト以下を長期的目標として住宅の除染などを進めていく。

「除染」は必要であるとの思いは、町民の総意だと受け止めている。

問

仮置き場問題は総論賛成・各

除染に町の年間予算にも匹敵する金額が投入されている。費用対効果のバランスも問われるが。

問

除染に町の年間予算にも匹敵する金額が投入されている。費用対効果のバランスも問われるが。

論反対の典型だ。私は町民に声を大にして申し上げる。個人の気持ち・考え方は当然尊重されるし、近くていやだというのも分かる。しかし、日常生活で我慢できない程いやなこ

となのか。町は仮置き場をしっかりと管理すると言っている。町民総意の除染推進のため「お互い様」の心で前進しませんか。

町長は「オール国見」で震災を乗り越えようと訴えてきた。改めて町民に強いメッセージを。

町長

現在7カ所の仮置き場候補地を確保している。皆様方が総論・各論とも賛成に少しずつ近づいてきたと考えている。しかし、まだまだ仮置き場は必要だ。今後とも、町民皆様のため、そして町民皆様とともに除染を進めるためには、仮置き場がぜひ必要である。その思いをしっかりと伝えながら町全体の除染を進めていく。

問 東日本大震災から2年9か月が経過した。未解決問題が山積している。特に遅れているのは除染問題であろう。現時点での町全体の追加被ばく線量についてどう捉えているのか。

での空間線量率は、毎時0・15マイクロベクト。町内全域で同様な数値の減少があるとは考えていない。地形などでいまだに高い場所もある。これまで除染を実施してきたが、その効果は大きいと実感している。

保健福祉課長

各検査を受けた全員が健康に影響の及ぶ数値ではないとの報告を受けている。

原発災害対策課長

現在の旧役場敷地内

問

町はガラスバツジによる外

問

国際原子力委員会と原子力規制委員会は「必ずしも1ミリベクトにこだわる必要はない。20ミリベクト以内であれば健康に大きな影響はない。」との見解を示している。町の対応方針に変更はないか。



佐藤定男議員



町民総意で除染推進(町民会議総決起大会)

Q 農家と商店の連携による
農業振興を

A 若手農・商業者が交流できる場を検討する



渡辺勝弘議員

問 未来の農業の姿として6次産業化が不可欠と考えるが、そのためにも若手の農業後継者と商業後継者との交流会を設定すべきと考えるが。

町長

既成観念にとらわれない若手の商業者と農業者は、異業種間の連携へと発

展することができると見町の大きな財産である。今年度も開催した合同懇談会や農商工一体となった交流の場の設置に向けた6次化の検討会など、青年農業者、青年商業者が連携できるシステムを検討していく。

問

「究極の地産地消」として中小企業と商店街が連携した「水耕栽培」を、現在進めている交流の場の施設の一部としてはどうか。話題性ある施設として全国に発信で



まちづくり基本計画説明会(役場仮庁舎)

きるのでは。

産業振興課長

提案の施設は農業を観光産業としての視点での「見える農業」や「産業観光」として考えると、交流の場における農業体験施設の一つとして検討することは可能である。しかし、商店街との連携については町が実施するイベントへの参加状況や定期的に行っている町と商工会事務局との打ち合

問

地元の中小企業との連携によって、農業の6次化の第一歩になるのではないかと。

町長

交流施設をいかに国見型の素晴らしい施設にするか、現場の商店主、農業



農商工の連携へ合同懇談会(みらいホール国見)

わせなどから判断すると連携はなかなか難しいのではないかと。

者、商工会などと意見交換しながら、具体的な施設運営について今後対応していく。

※6次化産業化

農業などの第1次産業が第2次産業(食品加工)、第3次産業(流通販売)に業務展開すること。それらの数字を足しても掛けても6となるため、6次化産業と呼ばれる。

Q 阿津賀志山整備構想は

A まず震災復旧を第一に進めていく

問

阿津賀志山は史跡と自然景観の山である。町では整備する方針であるが、その計画は。

阿津賀志山は的視野で検討していく。

問

町内の森林で伐採適齢期を超えている森林が問題となっている。なぜ伐採が進まないのか。

問

松くい虫やナラ枯れによる森林被害の状況と対応は。

問

町では公共建築物などに地元木材を活用する方針だ。新庁舎にその計画はあるのか。

問

新聞に県内の民有林の除染が手つかずとあった。町の森林除染はどうなっているのか。

問

町が独自に行った放射性物質の木材への影響調査の結果は。

町長

阿津賀志山整備構想を平成19年度に町民各層の意見を基に策定した。今後、大震災からの復旧復興の進捗状況や将来を十分見据えながら、長期

産業振興課長

輸入材 価格の低下と採算性の悪化により森林所有者が森林に手を掛けなく

産業振興課長

それぞれ 抜本的な対策がなく苦慮している。気候の温暖化や森林管理の悪化が主たる要因だ。今後は、被害を受けにくい健全な森林づくりや町内産木材の利便促進など総合的に進めていく。

産業振興課長

町では森林を先人からの宝物として捉えている。今後も有利な補助事業を取り入れ、所有者の収入に結び付くよう森林の活用を図っていく。

町では森林を先人からの宝物として捉えている。今後も有利な補助事業を取り入れ、所有者の収入に結び付くよう森林の活用を図っていく。

産業振興課長

できれば町内産木材を使用したい。

問

町は森林に携わる人を育成する考えは。

産業振興課長

まずは子どものうち

森林所有者は山林収入が見込

問

山林収入が見込

森林除染を

どう進めるのか

ることが重要である。そのため小学校と連携しながら事業を進めている。

より「ふくしま森林再生事業」が創設され、町では県内市町村に先駆け、この事業に着手し、環境省が認めていない森林除染の実を上げるための取り組みをしている。

産業振興課長

市町村や県の要望に

産業振興課長

町内で切り出された木材を対象に放射性物質の測定を行った。県が新たに設けた木材の放射性物質の基準値を大きく下回る結果が出ている。



阿部泰藏議員



松くい虫被害も影響が、枯損した義経の腰掛松(石母田字笠松地内)

Q 消費税増税で町民生活は どうなるのか

A 行政サービスに影響ないよう対応する



浅野富男議員

10月の10%に引き上げるための第1段階であり、今後の町民生活や地域経済への影響が見通せないことや復旧・復興の途中であることから現段階では、町民に負担を強いることは考えていない。

1%から1・7%に、地方交付税への配分率が1・18%から1・4%に引き上げられ、合わせて7300万円増を見込んでいる。

問 町の財政が増税によって豊かになるのか。

総務課長 地方への配分増が見込まれることから、実質の収入増は予想していない。

問 増税は町民の生活に新たに重くのしかかってくることになる。新年度町が行う施策に影響があるか。

町長 消費税率の改正後も事業や財源の精査と重点選別主義をさらに徹底した町政運営を行い、町民に対する施策に影響が生

問 震災からの復旧・復興で大変な時期での消費税増税は多くの反対があった。しかし、来年4月に税率が8%に引き上げられる。町の会計で増税分が最も顕著に表れるのが、上下水道事業と

負担額は、新たな町民

総務課長 年間一世帯当たりで水道料は1948円、下水道料では1255円の負担増とみている。

問 使用料・手数料への消費税の転嫁はあるのか。

総務課長 今回の税率改正は、平成27年

正は、平成27年

総務課長 歳入歳出予算規模は増加するが、町の純然たる負担増は、ほとんどないと見ている。なお、消費税率の改正による地方への交付金の交付率が

今回の税率改正は、平成27年

町長 消費税率の改正後も事業や財源の精査と重点選別主義をさらに徹底した町政運営を行い、町民に対する施策に影響が生

今回の税率改正は、平成27年



高齢者の負担増が心配されます(大木戸いきいきサロン)

問 町民に対する負担軽減策はないのか。

町長 消費税増税に伴う国の経済対策の中に町民の目線で活用できるものがあれば対応していく。

Q 汚泥搬出の覚書を県に 確実に実行させよ

A 重大な関心をもって監視していく

問

悪臭等による周辺地域の負担を早期に取り除くためにも下水汚泥の搬出と搬出後の保管テントの撤去を速やかに実施させる必要がある。町の対応は。

に履行されるよう、浄化センターでの事業の進捗状況などに重大な関心を持って監視していく。

問

汚泥の搬出と保管テントの撤去後は、二度とこのようないことがないよう公園としての整備など環境美化を進めさせては

課 上下水道 長

テント撤去後はホコリ止めや雑草対策として舗装のままにして、適正な敷地の維持管理に努めると聞いている。

今後とも周辺の住民に迷惑をかけないように県に要請していく。

早期に防火 水槽の除染を

問

住宅除染が本格的に開始され、ひと安心して、住宅のほか、道路や側溝、防火水槽の除染も早急に必要なものがあるのでは。

原発災害 対策課長

住宅・宅地の除染と同時に並行的に実施する考えに変更はない。

駅前公園を 駐車場に

問

駅利用者からは駐車を整備してほしいとの声がある。駅前公園が利用されていないのであれば、駐車場に活用できないか。

課 建設 長

今年はイルミネーションの飾りつけや各種イベントの集場所など、各方面でさまざまに活用されている。また、駐車場整備は、民間経営を圧迫しないよう経営者と十分な協議が必要であり、今後の利用状況なども踏まえながら検討していく。

ゴミのポイ捨て 防止に有効な対策は

問

道路わきの農地などに空き缶などのゴミが捨ててあるのをよく見かける。ポイ捨て対策としての条例整備などが必要では。

課 住民生活 長

ポイ捨てを含む不法投棄対策を再度検討した上で、モラルの向上や環境美化、更には良好な環境の保全を、町民との協働により推進できるとの事業を今後展開していく。



村上正勝議員



10月の不法投棄ゴミ撤去作業(小坂峠)

議会改革に取り組んでいます

議会改革特別委員会報告

町議会では、身近で信頼される議会、透明性のある開かれた議会を目指し、議論を進めてきました。議会改革特別委員会の内容や結果を報告します。

アンケートで寄せられた意見にお答えします

議員報酬を削減しています

月まで、議長、副議長、議員の報酬をそれぞれ10%、7%、5%減額しています。なお、伊達郡内で減額し

Q 議員報酬が高すぎ
き。もっと減らすべ

A 大震災への対応のため、平成23年7月
から議員任期の平成27年6



議会改革特別委員会の様子(役場仮庁舎)

■町村議員報酬の比較

	議長	副議長	議員
国見町	30万4200円	23万6200円	21万6600円
伊達郡平均	32万6733円	24万8066円	22万4200円
県平均	27万6443円	22万2308円	20万7434円

■町村議員定数の比較

	人口	議員定数
国見町	9956人	12人
伊達郡平均	1万2693人	14人
県平均	9063人	12人

ているのは国見町だけです。

現在の議員数は、平均的な数です

Q 議員の人数をもつと減らすべき。

A 平成19年4月に議員定数を18人から6人(3分の1)減らし、12人

にしました。県内の町村議会議員の平均人数は12人程度です。

議員年金は廃止されています

Q ほかの町村では議員年金がないと聞いたが、国見でもなくすべき。

A 議員年金は、国の法律に基づき支払われていましたが、財源の確保が難しくなり、平成23年6月に廃止されています。

これまでの議会改革の取り組み

平成18年6月	一般質問を「一括質問・一括答弁方式」から「一問一答方式」に変更 議会開催のお知らせ(チラシ)を全戸に配布
平成18年11月	町民(農商工代表者)との懇談会(まちづくりや議会要望など)
平成19年4月	議員定数を18人から12人に削減 委員長報酬の廃止 費用弁償(議会や委員会に出席するための交通費)の廃止
平成20年2月	町民との懇談会(児童数の減少などの学校問題)
平成20年4月～平成21年3月	議員報酬を5%削減
平成21年4月～平成27年6月(平成23年4～6月を除く)	議長、副議長、議員の報酬をそれぞれ10%、7%、5%削減
平成25年3月	議会改革特別委員会を設置し、16回の委員会、先進地調査、研修会参加などを実施

町民と接する機会を増やします

Q もっと議会の内容を説明して、町民の声を聞いてほしい。身近な

A 活動が必要では。議会基本条例に規定する議員報告会や一般会議を活用し、身近で信頼される議会、透明性のある開かれた議会を目指します。

議会基本条例策定へ町民説明会を開催します

町民の皆様、議会基本条例（案）を直接説明し、議会改革の活動状況を知っていただき、同時に議会運営や議員活動に対する貴重なご意見などをお聴かせいただくため、説明会を開催します。

皆様多数のご参加をお待ちしております。

開催日時 平成26年2月14日(金曜日) 午後1時30分

場 所 観月台文化センター大研修室

内 容 ①なぜ議会基本条例が必要なのか
②議会基本条例(案)の説明

「国見町議会基本条例(案)」への意見を募集します

「国見町議会基本条例(案)」は議会ホームページ
(<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>)で公開しますので、ご意見をお寄せください。

■募集期間 平成26年2月7日(金)～2月21日(金)

■提出できる方 町内に住所のある方

■提出方法

1. 議会事務局に直接提出
2. 郵送(2月21日(金)当日消印有効)
3. ファクス 024-585-2181(議会事務局宛)
4. 電子メール gikai@town.kunimi.fukushima.jp

様式はありませんが、意見を提出する場合は、住所、名前を記入してください。

問い合わせ

議会事務局 ☎024-585-3295

国見町議会基本条例(案)の概要

■町民と議会

―開かれた議会―

- ・情報公開を徹底し、町民への説明責任を果たします。
- ・説明責任と意見聴取の場として、「議会報告会」を開催します。
- ・議会の視点で、様々な手段を活用して、町民に情報を提供します。

■議会及び議員の活動原則

- ・町民の代表であることを自覚し、町民に開かれた、町民参加の議会を目指します
- ・町民に議会資料などを提供し、わかりやすい議会を目指します。
- ・多様な町民意見を反映するため、議員の間で議論を深めます。

- ・選挙で選ばれたことを自覚し、資質向上に努力します。
- ・町民の代表として倫理性を自覚し、行動します。
- ・町民の代表として、その責務を果たします。

■議員間の討論の拡大

- ・自由討議で多様な意見から合意形成を図ります。
- ・討議の中から積極的に議案を提出できるよう努めます。

■議会機能の充実強化

- ・能力向上や積極的に研究会を開き、議員研修の充実強化に努めます。

■議会改革の推進

- ・議員と町民が自由に意見交換できる場「一般会議」を設置します。

■議会における議論の活性化

- ・質問・答弁を町民にわかりやすくするため、質疑を「二問一答方式」で行います。
- ・質問の論点・争点を明確にするため、町長などに質問の趣旨を確認する発言を認めます。

産業厚生常任委員会 県外調査

町活性化へ産業と人の交流に必要なものは

長野県内優良施設を調査

11月5日から7日に長野県内で、あんぼ柿の復興と農業体験施設などの交流施設計画のため、県外調査を行いました。

町では道の駅を含む交流の場建設を予定し、産業と人の交流の一つとして農業体験施設が求められています。町特産のあんぼ柿の加工や流通販売、施設整備、運営面を先進地で視察し、今後の参考とします。

作る——生産



屋内栽培の様子が見学できる(諏訪菜)

株式会社

諏訪菜

(茅野市)

地元中小企業が連携し、駅ビルの空き店舗が農場。蛍光灯と肥液や水道水の循環で葉物野菜を屋内生産している。気象条件に左右されず安定した生産ができ、無農薬で洗わずに安心して食べられる。

- 健康志向もあり、水耕栽培で手間を省いて生産できる点が良い。

(井砂委員)

●大きな施設を想像したが、小さな

呼ぶ——集客

みはらしファーム

(伊那市)

いちご園やJA直売所、



中心はいちご園の収穫体験 (みはらしファーム)

- 場所でも野菜づくりができることに感心した。(村上正勝委員)
- 値段が高く販売先確保が課題か。(村上晴天委員)
- 風評被害対策として屋内

栽培による安心安全のイメージ作りを利用できる。また、空き店舗や廃校にも活用できる。

(渋谷委員長)

- 農産物加工場、伝統工芸施設、レストラン、温泉宿泊施設、貸出農園、牧場など多くの施設があり、眺望もよく、年間50万人以上が利用。
- 高速道路での集客が期待できる理想的な施設だ。

(井砂委員)

●国見にも収穫体験ができる施設が必要。

(村上正勝委員)

●土地が広すぎ、維持管理費と冬の収入減が懸念される。

(渡辺副委員長)

●地域活性化や農業後継者対策の効果が期待できる。

(阿部委員)

●良い景観を利用した集客方法は参考になる。

(渋谷委員長)

売 る — 販売

かぶちゃん農園株式会社
(飯田市)

干し柿「市田柿」のブランド化を地元大学と連携し研究。冷凍保存で年間販売や通信販売を進めている。

* * *

● 冷凍施設での年間販売は



巨大な流通倉庫に驚き
(かぶちゃん農園)



国見でも必要ではないか。

(村上正勝委員)

● 加工柿が国見の20倍の値段で販売され、付加価値の高さを感じた。

(阿部委員)

● 作る喜びだけでなく、付加価値により農業でも十分な収入が得られる。

(渡辺副委員長)

● 流通倉庫や冷凍庫はこれまでの農業とかけ離れていた。通信販売の綿密な計画に感心した。

(渋谷委員長)

付加価値の高さを実感

(かぶちゃん農園)

住 む — 定住

佐久クラインガルテン望月
(佐久市)

耕作放棄地の活用が目的の滞在型市民農園(宿泊施設付き市民農園)。都市からの利用者を募集し、待機者が出るほど希望が多い。

* * *

● 田舎暮らしを好む都会の人の市内への定住も期待



宿泊棟と市民農園が隣接している
(佐久クラインガルテン望月)

できる。(井砂委員)

● 入居者数の割に野菜栽培が少なく、利用者は別荘感覚か。(阿部委員)

● 待機者が出るほどの地の利を生かした募集効果

産業厚生

町民の意見を尊重した計画づくりを

10月28日、都市計画マスタープラン(まちづくり長期



危険予測と予防対策が必要(山崎字南古館地内)

連携し、危険予測地域は住民への周知方法や誘導体制の検討の説明がありました。どの事業も町民の意見を尊重することや行政の責任が大きく求められるため、議会が厳しく監視する必要があります。

計画)や貝田地区ほ場整備事業、土砂災害予防対策の事務調査を行いました。

マスタープランでは、交流の場と連携してまちづくりを進めること、ほ場整備では地元の同意を得て、十分に説明し進めること、土砂災害予防対策は関係課と

すごい。(村上晴夫委員)
● このような施設があれば国見でも交通の便の良さを生かして集客できるのでは。(渋谷委員長)

産業厚生

アンポ柿の安全に太鼓判

11月29日、アンポ柿加工再開の取り組みを確認するため事務調査を行いました。安全な原料柿の確保のため、加工前に2回の厳密な検査を行い、アンポ柿出荷前にも全量検査を実施し、安全のため徹底した検査を行うとのことでした。



あんぽ柿の安全を確認
(国見検査場)

12月12日には全議員が国見共撰場内検査場を視察し、検査の状況を確認しました。

総務文教

文化財を活用し 地域づくりと 町の活性化を

11月15日、町文化財の現状を確認するため事務調査を行いました。新たに指定された「塚野



阿津賀志山防塁の現地調査
(西大枝字下二重堀地内)

見学には整備が必要か
(貝田レンガ橋)



目城跡」や「貝田姥神沢旧鉄道レンガ橋」、発掘調査中の「阿津賀志山防塁下二重堀地区」、屋根の損傷や枯損が心配される「岩淵遺跡」や「義経の腰掛松」を現地調査しました。

どの文化財も観光資源とするためには整備が必要であり、特に旧鉄道レンガ橋は国見峠長坂跡から貝田宿を一つとして貝田・大木戸地区の地域づくりとしてPRすべきという意見が出ました。議会としても町史跡を十分に把握し、町の活性化につなげる必要があります。

総務文教・産業厚生

婚活イベントを 開催しては

1月15日、少子化対策の事務調査を行いました。平成25年度は、子育て支援として保育所の待機児童の解消や放課後子どもクラ



子どもは町の宝物(藤田保育所クリスマス会)

ブの拡充、くにみもたん広場の設置、乳幼児健診など母子保健の充実などに取り組んでいるとの説明がありました。委員からは、少子化対策として出会いの場や婚活イベントが必要であり、行政でも担当部署の設置など積極的な支援が必要という意見が出されました。

第57回町村議会議長全国大会 ～真の分権型社会の実現を目指して～



議会の動き

全国大会で八島議長が 福島復興を訴える



11月13日、東京・NHKホールで、全国の町村議会議長など約1700人が出席し、第57回町村議会議長全国大会が開催されました。八島博正議長（福島県町村議会議長会長）が本県を代表して「東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議」を提案しました。特に、原発事故によるすべての被害・損害への賠償や原発事故の収束と確実な汚染水処理の対策などを求め、全国に福島復興と災害対策の強化を訴えました。

【写真右】特別決議を提案する八島議長
【写真左】町村議会議長全国大会

12月10日 ～13日	12月議会定例会開会
12月10日	1000年のまち。これからの100年のまちづくり基本計画報告会 広報編集委員会
12月12日	3.11大震災復興対策特別委員会（現地調査）
12月17日	叙勲・各種表彰受賞祝賀会
12月18日	東日本大震災復興復興対策推進国見町民会議役員会議 議会改革特別委員会
12月20日	新庁舎建設現場調査 あんぼ柿加工再開セレモニー
12月23日	阿津賀志山ビッグツリー点灯式
12月24日	正副議長委員長会議 義経まつり実行委員会
12月26日	東日本大震災復興復興対策推進国見町民議決起大会
1月5日	消防団出初式
1月6日	賀詞交歓会
1月7日	明日へ。復興・きずなイルミネーション「花音ライブ」&フィナーレ
1月8日	交通三団体交通安全祈願祭（桑折町） 広報編集委員会
1月9日	議会改革特別委員会 年始知事懇談会（福島市）
1月10日	国見地区建築業組合定期総会懇親会
1月12日	町成人式
1月14日	議会要請活動（復興局、県庁、東京電力） 総務文教・産業厚生合同常任委員会 議会改革特別委員会
1月15日	広報編集委員会
1月21日	議員懇談会 議会改革特別委員会
1月27日	県町村議会正副会長会議及び理事・監事会議（福島市）



1月14日、渡辺宏喜県土木部長に意見書を手渡し（福島県庁）

議会傍聴をしてみませんか

手続きは、受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。

次の定例会は
3月6日開催予定です

詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。

TEL585-3295（直通）

身近で愛着の持てる
交流の場づくりを

この一年、国見町の記事が新聞に掲載されることが多くなったような気がします。町外の人から「国見は頑張っているね。」と言われ、とてもうれしく感じています。

さて、復興の目玉として道の駅に企画されている『交流の場』についてですが、私は高齢者や女性、子ども対象という枠組みにとらわれず、またこれまである施設と機能を共有しながら、中学・高校生などの若い人を含め幅広い年齢層の文化的な交流の拠点として活用で

きる場所にしてもらいたいと思います。例えば、年代を問わず利用したくなるような「特色のある図書館」や「ミニコンサートなどができる広場」、町民の要望に応えられる「多様な情報提供コーナー」などがあれば、町民が進んで足を運ぶ場となるのではないのでしょうか。

施設を利用する対象者の幅を広げることで、その場がより多くの住民にとって身近で愛着のある、よりよい施設にしたいと思える場所になります。その意識こそが重要であり、町の活性化、そして発展に不可欠なことではないでしょうか。

『交流の場』、そしてそこから生まれる大きな国見の輪を広げるため、行政はもちろんのこと、議会のみならずと町民一人ひとりが知恵と力を出し合っていけたらと考えます。



関口 祐子

(泉田上町内会)

国などに下水汚泥による
損害賠償を要求

1月14日、八島博正議長ほか4人が、復興庁福島復興局、福島県庁を訪れ、亀岡偉民復興大臣政務官、渡辺宏喜県土木部長に「放射能汚染による下水汚泥堆積に伴う損害賠償を求める意見

書」を手渡し、強く要請を行いました。

また同日、東京電力福島復興本社福島分室を訪問し、「放射能汚染による下水汚泥堆積に伴う損害賠償等

を求める要求書」を手渡し、積極的な対応を求めました。

めました。

東京電力福島復興本社復興推進室の林孝之室長から、「復興計画に基づいて、県の指導に従い対応したい」との回答がありました。

これらは、下水汚泥の留め置きによる風評被害や長期間の精神的苦痛など原発事故以降の全ての損害賠償を国や県、東京電力に求めるものです。



亀岡偉民復興大臣政務官に意見書を手渡し(復興庁福島復興局)

新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は懸案の県北浄化センター問題が、解決に向けて大きく動き始めました。また除染問題も仮置き場の確保とともに前進しています。

年末、年始と慌ただしく動き回っているうちに、もう新年の1か月が過ぎようとしています。今年はどうな年になるのでしょうか。着実な歩みを祈るばかりです。

「議会だより」編集委員会から皆さんにお願いです。

「私もひと言」欄に町政・議会に対しご意見ご感想等をお聞かせください。毎回編集に苦勞しています。

わかりやすく、身近な「議会だより」を目指して編集委員一同、今年もがんばります。

(S・S)

- | | |
|--------|--------|
| 議長 | 八島 博正 |
| 副議長 | 志村 良男 |
| 編集委員長 | 浅野 富男 |
| 編集副委員長 | 松浦 常雄 |
| 編集委員 | 東海林 一樹 |
| 同 | 佐藤 定男 |